

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法  
満期保有目的の債券・・・償却原価法（定額法）によっている。
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法  
実地棚卸による最終仕入原価法を採用している。
- (3) 固定資産の減価償却の方法  
①車両運搬具、什器備品  
定率法による減価償却を実施している。
- (4) 引当金の計上基準  
退職給付引当金は、期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。
- (5) リース取引の処理方法  
所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の売買取引にかかる方法に準じて、会計処理を行っている。  
リース資産の減価償却方法は、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。
- (6) 消費税等の会計処理  
消費税の会計処理は、税込方式によっている。

### 2. 会計方針の変更

電話加入権を除外した。

### 3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	10,000,000	0	0	10,000,000
投資有価証券（市債）	210,177,450	22,550	0	210,200,000
普通預金	22,550	0	22,550	0
小 計	220,200,000	22,550	22,550	220,200,000
特定資産				
退職給付引当資産	73,231,198	171,108	2,500	73,399,806
事業振興基金積立資産	7,091,090	1,772	0	7,092,862
小 計	80,322,288	172,880	2,500	80,492,668
合 計	300,522,288	195,430	25,050	300,692,668

### 4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
定期預金	10,000,000	(10,000,000)	(0)	
投資有価証券（市債）	210,200,000	(114,441,000)	(95,759,000)	-
普通預金	0	(0)	(0)	
小 計	220,200,000	(124,441,000)	(95,759,000)	-
特定資産				
退職給付引当資産	73,399,806	(0)	(0)	(73,399,806)
事業振興基金積立資産	7,092,862	(0)	(7,092,862)	(0)
小 計	80,492,668	(0)	(7,092,862)	(73,399,806)
合 計	300,692,668	(124,441,000)	(102,851,862)	(73,399,806)

### 5. 担保に供している資産

担保に供している資産は保有しておりません。

6. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	2,331,745	2,119,697	212,048
リース資産	21,451,500	14,301,000	7,150,500
電話加入権	618,672	618,672	0
合 計	24,401,917	17,039,369	7,362,548

7. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	債権金額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
未収金	3,001,865	0	3,001,865
前払金	778,308	0	778,308
立替金	833,323	0	833,323
合 計	4,613,496	0	4,613,496

8. 保証債務等の偶発債務

特にございません。

9. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
さいたま市第4回公募公債	200,000,000	202,540,000	2,540,000
さいたま市第13回公募公債	20,200,000	20,987,800	787,800

10. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
国庫補助金	経済産業省	0	0	0	0	-
地方公共団体補助金	さいたま市	0	354,040,374	354,040,374	0	-
民間補助金	さいたま商工会議所	0	180,000	180,000	0	-
民間補助金	公益財団法人JKA	0	14,769,000	14,769,000	0	-
合 計		0	368,989,374	368,989,374	0	

11. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息	3,778,050
合 計	3,778,050

12. 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引はございません。

13. 重要な後発事象

特にございません。

## 附 属 明 細 書

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記「3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」に記載しているため省略する。

### 2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	96,311,738	168,608	0	2,470,003	94,010,343